

変形性膝関節症に伴う難治性膝痛の臨床試験にご協力ください

お困りではありませんか？

- ✓ 膝の内側が痛い
- ✓ 「変形性膝関節症」と診断された
- ✓ お薬や注射が効かない
- ✓ 痛くてリハビリができない
- ✓ でも、手術は受けたくない



変形性膝関節症とは？

加齢や体重により膝関節が変形・破壊されておこる病気です。発症すると、立ち上がった時、歩いたりする時に膝が痛くなり、だんだんと歩くなどの日常生活が難しくなっています。

パルス高周波療法とは？

神経ブロックの一種で、高周波電流を用いて、神経が支配する部位の痛みをおさえる方法です。**一度注射をうけるだけで、3ヶ月以上痛みが和らぐ可能性があります。**従って、関節注射のように何度も受ける必要がありません。

変形性膝関節症に伴う難治性膝痛の臨床研究にご協力いただける方を募集しています

募集期間 2016年8月～2017年8月

*定員になり次第締め切ります

臨床試験の流れ

局所麻酔をした後、神経ブロックと同じ方法で、針を神経に近づけて、高周波電流を直接神経に流します。治療効果を、治療を受ける1週間前と1・4・12週間後にアンケートを用いて評価します。この試験では、パルス高周波療法とプラセボ刺激（治療効果のない電気刺激）の効果を比較するために2つのグループに分けて治療を行います。どちらのグループになるかは、くじを引くような方法で決められ、その確率は2分の1です。どちらに割り当てられるかを患者さんも担当医師も選択することができません。

ご参加いただける方

- ① 年齢が40歳以上85歳未満の方
- ② 変形性膝関節症であることが診断されている方
- ③ 膝の内側に3か月以上痛みがある方
- ③ 3か月以内に手術をうける予定がない方

参加の方法

かかりつけ医から大阪大学医学部附属病院の福祉ネットワーク部を通して、麻酔科ペインクリニック外来の予約を申し込んでください。あんしんクリニック（三宮）での参加をご希望の方も、下記電話番号へご連絡ください。かかりつけ医からの紹介状をもって受診をお願いします。

この臨床試験に関する問い合わせ先

大阪大学医学部附属病院 麻酔科ペインクリニック
06-6879-3131 (受付 10:30-17:00)

<http://hccweb6.bai.ne.jp/~hfl53001/>

実施場所 大阪大学医学部附属病院(大阪)、あんしんクリニック(神戸・三宮)

